

日本語教育小委員会におけるヒアリングのテーマと対象者（案）

	主なヒアリングのテーマ	対象者
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>対象別の日本語教育の在り方</u> ○ <u>定住外国人のための日本語教育特有の問題の明確化</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語教育の対象者（学習者）は近年多様化していると言われている。そこで、学習者の変化（学習者層の多様化）について聴取し、対象別日本語教育の必要性について確認する。 ・ また、日本語教育の目的の多様化について、従来の日本語教育とは明らかに異なるニーズの学習者が増加している事情を聴取する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターカルト日本語学校 ・ 新宿区立しんじゅく多文化共生プラザ （財団法人新宿文化・国際交流財団）
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>定住外国人のための日本語教育特有の問題の明確化</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に定住する外国人の日本語教育について、学習動機やニーズの多様化に対して、従来の就学生・留学生に対する日本語教育の内容・方法では対応できないという報告があり、その実情について聴取し、定住外国人のための日本語教育特有の課題を明らかにする。 ○ <u>地域における日本語教育実施体制の改善</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の日本語教育における現状の実施体制の課題等を明らかにするため、国内の先行的な取組や、海外の言語教育政策の状況について聴取する。 	<p>【候補】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人集住地域等の国際交流協会の職員 ・ 多言語・多文化教育の研究者 ・ 海外の言語政策に詳しい研究者
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>日本語教育拠点の整備</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域日本語教育ボランティア等の活動を支援する機関（拠点）の必要性・重要性について関係者から聴取する。 ○ <u>他の政策との連携の強化</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援、看護師・介護士等、日本語教育の対象者の広がりに伴う、連携の重要性について関係者から聴取する。 	<p>【候補】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の日本語教育の拠点的な役割を果たしている大学等の研究機関又は団体の関係者 ・ 研修生、看護師及び介護士等に対する日本語教育の関係者